

# いながき

稲垣

# 孝子

<https://inagakitakako.seikatsusha.me/>

## 誰もが“私らしく生きるための政治”へ

品川・生活者ネットワーク NEWSNo.145  
発行:品川・生活者ネットワーク  
発行責任者:吉田由美子  
発行日:2026年6月1日  
〒142-0042 品川区豊町5-11-9中村荘101  
TEL03-5751-7105/FAX03-5751-7106  
メール:shinagawa@seikatsusha.net  
HP: <https://shinagawa.seikatsusha.me/>

●品川・生活者ネットワークいながき孝子の活動を紹介します。

生活者ネットワークは、都内32の自治体にあり、都議会議員1、区・市議会議員39の女性議員をもつ市民の政治ネットワークです。東京を、品川を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。

### 区政にチャレンジ！いながき孝子の決意

「政治」は難しい誰かのものではなく、私たち一人ひとりの生活の一部であり、暮らしむきを左右するものだと思います。いま困っている人たちの声を届けたい。そして解決の糸口を一緒に探したい。私自身、自宅が道路計画にかり、立ち退きを迫られるという状況に直面しています。同じように、再開発などで終の棲家を追われる方たちの戸惑いと不安の声が私自身の問題と重なります。福祉政策の行き詰まりを訴えるお話の中でも、福祉施設の不足や質の改善を求める声を聴いてきました。最大多数の幸せも大切ですが、少数派が切り捨てられる社会は誰にとっても居心地

地がよくないのではないのでしょうか。

誰もが日々の暮らしに困ることなく、気軽に相談できる場所がある。そんな居場所を地域のみなさんと一緒につくることをめざしたいと思っています。

いま、私にできることは、みなさんと一緒に横に手をつないで、具体的な行動を積み重ねていくこと＝市民が自治するまちづくりです。「普通の市民の代弁者＝ネット議員」の役割を果たすために、再び区政に挑戦することを決意しました。

### 生活者ネットワークの3つのルール

#### ルール 1

議員は交代制（ローテーション）

#### ルール 2

議員報酬は市民の政治活動資金に

#### ルール 3

選挙はカンパとボランティア



東京ネットのよびかけ

### いながき孝子 profile

■1966 品川区生まれ。区立第一日野小学校、区立日野中学校、都立大崎高校卒業 ■1990 國學院大学文学部史学科(2部)卒業 ■1990~一部上場民間企業、東京職業能力開発センターなど外郭団体や派遣などで勤務 ■1996~しながわ女性フォーラム実行委員 (~2000年) ■1997~男女共同参画のための品川区行動計画推進会議(第5期)委員 ■2008~民主党大学東京2期生/4期生 ■2009~尾崎行雄記念財団罈堂塾塾生(2010年~同会会員) ■2010~一般社団法人「構想日本」勤務 ■2014~放射2号線を考える会事務局 ■2022 住み続けられるまちづくりをめざす品川区民の会副代表 ■2022 品川区議会議員初当選 ■2023 品川区議会議員選挙2期目挑戦 ●活動歴/ケーブルテレビ品川区民カメラマン・アナウンサー、義仲・巴ら勇士 讀える会理事などのフィールドでも活動 ●趣味/歴史探訪、古武道、弓道、読書、旅行 ●西五反田在住



サポーター募集中!! ●生活者ネットワークは、カンパとボランティアの政治活動を行っています。あなたも参加しませんか?

# いながき孝子の提案

## 防災・減災のための「協議のできるまちづくり」を拡げます

防災対策の名の下に、道路の拡張や木密の解消を含めた都市開発が区内で起こっています。いずれも空き地ではなく、そこには住民が暮らす家があります。一時の住まいの人もいれば、高齢で終の棲家としている人もいます。憲法では居住の選択が保障されていますが、真に公共の福祉なのかの協議も合意もなままに、移転を迫られている人たちが存在するのが、品川区です。

賛成反対で終わらない、協議ができるまちづくり条例をつくりまします。

## 情報格差をなくし、市民自治を進めるしくみづくり

「情報」が、必要としている人に適切なタイミングで届けられるしくみづくりを構築します。正しい情報のもと、自分のこと、自分の住むまちのことは自分たちで決める。

情報の共有と、市民自治の精神で、三方よしの区政をめざします。

## 子育ても介護もひとりにしないまちづくり

乳幼児から高齢者まで、世代を越えて生活を支えるしくみをつくるための地域包括ケアの拠点を整備します。問題を抱える(困りごとのある)人が気軽に立ち寄り相談できる居場所づくりを進めます。



市民協働のまちへ  
つくりよう!  
自治基本条例  
いながき孝子



▼ 誰もが “ 私らしく生きるための政治 ” へ



大崎地区で駅西口の再開発を知るためのおしゃべり会を開催、コーディネーター役を担った

## めざすは「地域丸ごと社会」

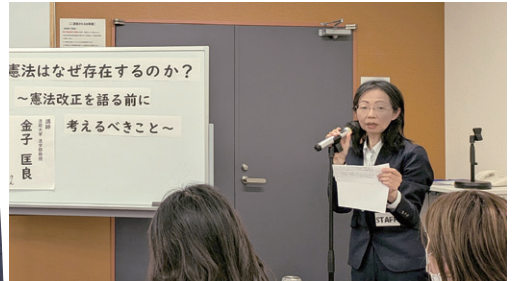
品川区の福祉政策には課題があるといわれてきました。その一つが地域包括支援センターです。高齢化が著しく、例えば臨海の八潮地区ではすでに36%を超えています。高齢者の介護問題は喫緊の課題です。品川区ではセンター機能が区の高齢福祉課の1拠点にとどまっているため、地域包括支援センターの存在が知られていません。お隣大田区では、すでに40力以上が拠点化されており、子ども福祉を含め、高齢者や障がい者の生活を支える地域福祉の拠点となっています。品川区は、やっと2027年度までに区内20力所の地域包括支援センター化を検討し始めました。しかし地域包括ケアの基本は、言うまでもなく高齢者福祉にとどまらない、子どもや障がい者、支援やケアを必要とする人たちの生活も支える「地域丸ごと社会」の実現だといながき孝子は考えます。多様で複雑なケア事情を踏まえ、制度や地域福祉につなぐためのワンストップ機能が担える地域包括支援センターの実現をめざします。



大井町駅にて定期遊説を月一で実施



「大人の社会科見学」と題し小山3丁目再開発(武蔵小山)と道路事業(放射2号線)計画を歴史にも知るツアーをこれまでに5回実施。ガイド役を担う



みんなで学ぼう! 憲法連続学習会(司会進行役として登壇)



前品川区議の田中さやかとともに武蔵小山駅で定期遊説「みなさま、ぜひお声かけください」